

～美味しい野菜をたくさんのお客さまに届けるために～ 「野菜の売り方勉強会」を開催

農事組合法人た・から
(農産物直売所た・から)

中央市の農業者で組織する「農産物直売所た・から」(塚田譲治理事長 組合員 114名)では、組合員の生産する野菜などの販売拡大を目的に「野菜の売り方勉強会」を6月24日開催、組合員40名が参加した。講師には小売業への経営指導で数多くの実績を上げるとともにフォーラム・ケイを主宰する上條資男先生を招き、売り上げアップのための販売方法や店舗のあり方について学んだ。

小売業では「売上を上げる」ために何をすべきかが常に課題となっている。勉強会では、売上が「客数」×「客1人あたりの買上個数」×「1品あたりの平均単価」の3つの要素で構成されていることを念頭に、どの要素が売上減少を招いているのか、どの要素をどうやって伸ばすのかを検討して対策を講じていく必要があることが説明された。

また、勉強会では、来店客ごとの買上個数を増やすための方策として、品揃え



講師の上條資男先生



新鮮野菜が豊富に揃う「農産物直売所た・から」(中央市白井阿原)

の充実、商品の陳列方法、店内の回遊を促す店舗レイアウト、購買意欲を増すための価格設定やPOPなどについて説明があり、多くの組合員が熱心に聞き入っていた。

今回の勉強会に参加した組合員からは、「これまでよい農産物をつくることに力を注いできたが、それに加えて売り方も重要だということが分かった」、「勉強会により、売上向上の具体策を見つけてことができそう」などの意見があり、今後の組合員の努力と組合としての対策に期待がかかる。当組合では、これからも「組合員の美味しい野菜をより多くのお客さまに届けていく」ため、お客さまに喜んでいただける売り場改善に努めていくこととしている。